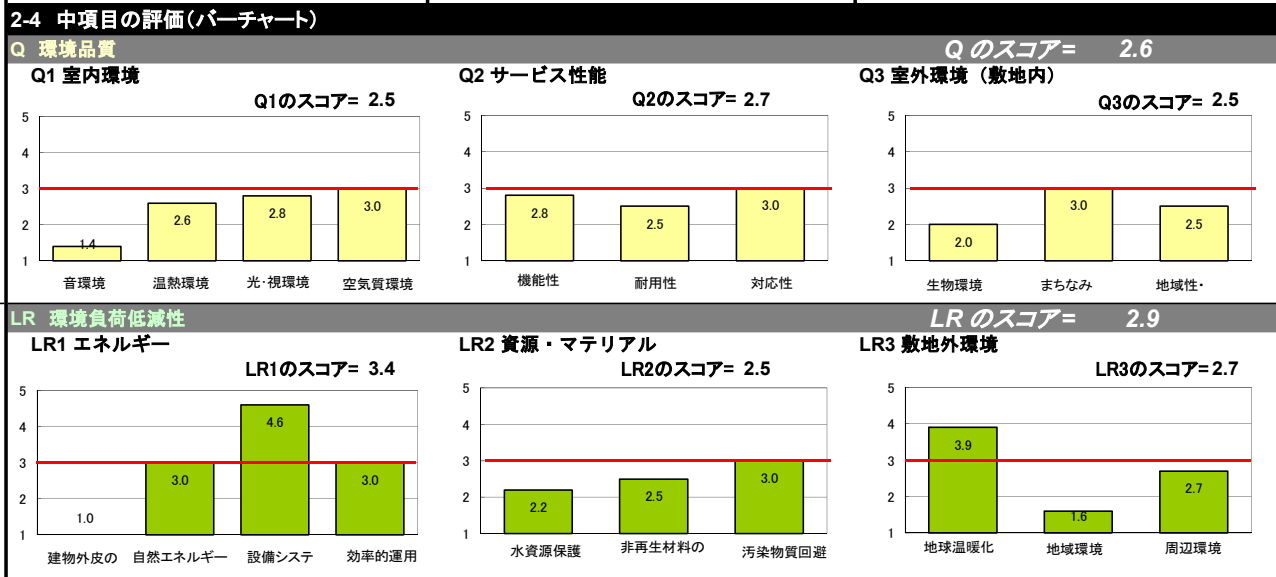
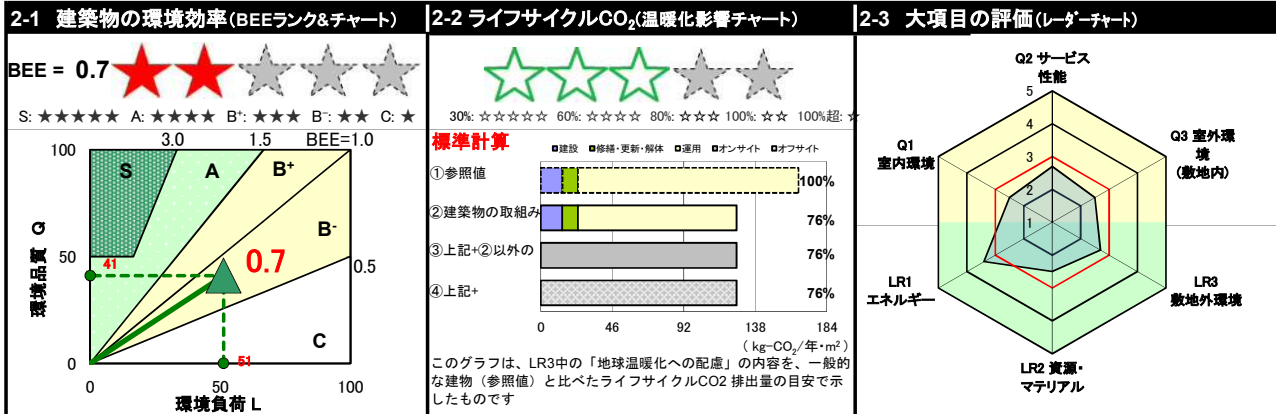




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東苗穂商業施設 新築工事	階数	地上2階
建設地	札幌市東区東苗穂4条2丁目 5-1 他8筆	構造	S造
用途地域	準住居地域/第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	50人
建物用途	物販店 集会所	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
竣工年	2018年8月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	4,379 m ²	評価の実施日	2018年8月1日
建築面積	1,729 m ²	作成者	
延床面積	3,261 m ²	確認日	2018年8月1日
		確認者	



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>建物をバックさせ、圧迫感が無い配置とし、スポーツの練習場と物販店舗という立场上、近隣が馴染みやすい施設を目指した。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>エネルギーロスが少なくなる形状を目指した(建物の矩形化等)</p>
<p>B 省資源等</p> <p>開口部を大きく設定し太陽光を取り入れ、省資源に努めた。</p>	<p>C 緑化</p> <p>札幌市で定める基準以上に緑化した。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>雪堆積場を設置した。排雪業者と通年契約をする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)
 (仮称)東苗穂商業施設 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
2 映り込み対策								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.7
1 機能性			2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性				-		-	
2 高度情報通信設備対応				-		-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性			2.8	0.30		-	
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	0.16		-	
2 リフレッシュスペース			2.0	0.16		-	
3 内装計画			3.0	0.68		-	
1.3 維持管理			2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			2.5	0.30		-	2.5
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	1.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	2.0	0.20		-	
2.4 信頼性			1.8	0.20		-	
1 空調・換気設備			1.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20		-	
3 電気設備			1.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備			2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30		-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.2	0.30		-	
1 階高のゆとり		メンテナンスを考慮して階高を設定した。	4.0	0.29		-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.71		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		パイプスペースを設置し更新性を考慮した。	4.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			1.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.5
1 生物環境の保全と創出	緑化		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ		1.0	0.20		-	1.0
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.72	4.6	0.50		-	4.6
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	省エネ		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	省エネ			-		-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.5
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60		-	2.5
2.1 材料使用量の削減	省資源	路盤工事では再生骨材を使用	4.0	0.13		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		-	-		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源		3.0	0.25		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源		1.0	0.25		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.13		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.25		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源	フロン・ハロンの回避		4.0	0.33	-
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	3.0	0.33		-	
3	冷媒	省資源	2.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	2.7
1 地球温暖化への配慮		省資源	ヒートポンプ方式エアコンの採用		3.9	0.33	3.9
2 地域環境への配慮			1.6	0.33		-	1.6
2.1 大気汚染防止		省資源	1.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 悪化 雪処理	1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		出入り口は南側だけでなく西側と東側にも設置した		5.0	0.25	-
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要

建物名称	(仮称)東苗穂商業施設 新築工事	BEE	0.7	BEEランク	B ⁻
建物用途	物販店,集会所,				
延床面積	3,260.5 m ²				

2 重点項目への取り組み

地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	レーダーチャート ★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 22.1 最低点 6.5)		合計 14.8点 /22.1点	
Q1 温熱環境	スコア 0.4 /0.8	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 0.8 /4.0
Q1 光・視環境	スコア 0.8 /1.3	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 /2.0
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 9.2 /10.0
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 /4.0
B 省資源等 (最高点 23.6 最低点 7.4)		合計 12.2点 /23.6点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.5 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.5 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 /1.8
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.9 /5.0
		LR3 地域環境への配慮	スコア 1.1 /4.4
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計 6.8点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 1.8 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.6 /6.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 /2.3		
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計 1.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数
 ■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数